

KYOTO UNIVERSITY SYMPOSIUM FOR THE ESTABLISHMENT OF SUSTAINABLE CAMPUSES 2024
京都大学 サステイナブルキャンパス構築シンポジウム 2024

次世代社会に向けた 環境調和型キャンパスの構築

— 需要側エネルギーマネジメントの今と未来 —



2024 **3/6** 水
15:00~16:10

形態

オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

お問い合わせ

京都大学 施設部環境安全保健課
サステイナブルキャンパス推進室

TEL : 075-753-2365

E-mail : sc-symposium@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参加登録

事前にオンライン参加登録
後日ウェビナー参加URLを送付

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdy-7oxZZ4dVPpymCjASnblv7DbPidkcWvKTslk4_QJLvtOg/viewform



01 [EVを活用した需要側エネルギーマネジメント
～地域社会との連携と将来展望～]

日産自動車株式会社
総合研究所EVシステム研究所 主管研究員
池添 圭吾

02 [空調+IoTを活用した地域エネルギーマネジメント
～再エネ最大活用を目指した地産地消への挑戦～]

ダイキン工業株式会社 東京支社空調営業本部設備営業部
ソリューションG 技術担当課長
杉元 康浩

主催：京都大学環境安全保健機構

「サステナブルキャンパス構築シンポジウム」は、持続可能な大学キャンパス構築に向けた産業界、自治体、大学等関係者の情報交換の場、環境対応策の最新事例の紹介の場として、2013年度より毎年開催しており今回で10回目を迎えます。グリーントランスフォーメーション(GX)を実現するための省エネルギー対策や、再生可能エネルギー活用の一層の推進が求められており、サステナブルキャンパス構築の動きが世界的な潮流となっております。また近年は、記録的な猛暑や地震、台風、集中豪雨といった自然災害による停電の頻発に加え、エネルギーの輸入依存度の高さに起因する価格の高騰など、電力供給網をはじめとする社会インフラの大きな課題が浮き彫りとなっております。

今回のシンポジウムでは「需要側エネルギーマネジメントの今と未来」と題し、電力を使う側のデマンドレスポンスによる調整力の拠出に焦点を当て、実証事業を進めておられる事業者様から、現在取り組まれている事例をご紹介します。徹底した省エネルギー化がエネルギーマネジメントの基本ではありますが、近い将来のマネジメントとして普及しつつある、電力需要と供給のバランス、つまり※調エネの実際についてご紹介いただく予定です。大学キャンパスには、膨大な数の空調機が稼働しており、また、公用車を含めたモビリティの電動化も加速しています。ご講演後のパネルディスカッションでは、新たな環境調和型キャンパス像と一緒にご共有させていただければと考えております。

オンライン形式ですが質疑応答・パネルディスカッションの時間も設けておりますので、みなさま奮ってご参加くださいますようお願いいたします。本シンポジウムが持続可能な大学キャンパスに向けた、新たな取組を生み出す契機となれば幸いです。

京都大学副学長 環境安全保健機構長
米田 稔

※調エネ・・・再生可能エネルギー等の発電量の変動について電気を使う側で調整することにより電気システムの安定を図る仕組み

プログラム

司会 松井 康人
京都大学環境安全保健機構 教授

- 15:00~15:05 **開会挨拶** 江上 雅彦 京都大学
理事・副学長（財務、施設、環境担当）
- 15:05~15:45 **講演1** 「EVを活用した需要家側エネルギーマネジメント
～地域社会との連携と将来展望～」
池添 圭吾 日産自動車株式会社
総合研究所EVシステム研究所 主管研究員
- 講演2** 「空調+IoTを活用した地域エネルギーマネジメント
～再エネ最大活用を目指した地産地消への挑戦～」
杉元 康浩 ダイキン工業株式会社 東京支社
空調営業本部設備営業部ソリューションG 技術担当課長
- 15:45~16:05 **パネルディスカッション**
- 16:05~16:10 **閉会挨拶** 米田 稔 京都大学
副学長(安全・衛生担当) 環境安全保健機構長

講演者紹介

講演 1



日産自動車株式会社
総合研究所EVシステム研究所
主管研究員

池添 圭吾

慶應義塾大学 機械工学専攻修士修了
日産自動車入社後、生産技術エンジニアを経て、2001年に総合研究所に異動
2016年より、EVと電力システムの連携(Vehicle Grid Integration: VGI)に関する研究を立上げ、現在はVGIの社会実装に向けて精力的に活動中

講演 2



ダイキン工業株式会社 東京支社
空調営業本部 設備営業部
ソリューションG 技術担当課長

杉元 康浩

京都工芸繊維大学工芸学部卒
ダイキン工業入社後、空調機省エネや建物ZEB化の技術実証および国内ユーザー向け提案実施など技術営業を担当。近年脱炭素など環境意識が高まる中、エネルギーマネジメント技術によるさらなる省エネ化や再生可能エネルギーの最大活用に取り組む。